

「悪と善に変える神」

あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、
多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです。

(創世記 50:20)

You meant evil against me, but God meant it for good,
to bring to pass, as it is this day, to save many people alive.

(meant は、mean「意図する」の過去形)

この言葉は、創世記の最後の章に出てくる言葉である。創世記は聖書の最初の書であり、この言葉を語ったヨセフは兄弟たちのために殺されそうになったが、エジプトに売られて行ってかろうじて命をたすかった。そこでよく与えられた場所で働いたために厚い信頼を得たが、まもなくその家の妻によって陥れられ、牢獄に入ることになった。そのような時でも、神による特別な能力をあらわした。そしてだいぶあとになって王の不思議な夢の意味を適切に説き明かして厳しい飢饉が生じることを予告した。それによってエジプトはその後、地中海東岸の広大な地域に生じた飢饉を乗り越えて力を維持していくことができた。そのため、囚人であったヨセフは、国王に次ぐ高い地位を与えられ、そこにかつての兄弟たちが穀物を求めてやってきた。彼らが本当に過去の罪を悔い改めているのかどうかを知ろうとして、ヨセフは彼らを試みた。その結果、彼らはかつての大きな罪をはっきりと知り、悔い改めているのがわかった。そこでヨセフが語ったのが、ここにあげた言葉である。

創世記は 73 頁にわたる書であり、そこで最後の部分に現れるのがこの言葉である。それは、ヨセフの兄弟たちが、重い罪を犯してきた、ということを知り悔い改めたということ、そしてどんな悪意であっても、それに打ち勝って善きものへと変えて下さるお方(神)がおられる、ということである。長い創世記の記述の最後のメッセージとしてこのことが記されているが、これは、現代の私たちにとってもとくに重要なことである。大きな災いや苦しみがふりかかっても、私たちが自分たちの罪を知り、そこから、罪を赦して下さる愛の神を信じるかぎり、必ず神は善きことへと変えて下さるようになる。

使徒パウロも同様なことを述べている。

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」(ローマの信徒への手紙 8:28)

いかに悪しきことがあろうとも、万事を善きにして下さるということは、何という大きな希望であろう。信仰と希望と、神の愛ということはこの創世記の記述から知らされるのである。



ザクロは、花を鑑賞するために、そして紀元前から、果樹としても栽培されてきたもので、この鮮やかな緋色の花と、濃い緑の葉の対照が印象的です。つぼみもはち切れそうな豊かさをたたえています。もともと、この植物の原産地は、地中海東岸からトルコ、イランやアフガニスタン地方です。今日では長く続く混乱や戦争で人々が苦しんでいるところが多いのですが、この花は、そうした人間世界の混乱と闇にすずかに語りかけるように、今も

その地方で咲いていると思われます。ザクロは、乾燥に強く、聖書の地方でも重要な植物として栽培されていたために、旧約聖書でも 20 回ほど出てきます。下のはその一例です。

あなたの神、主の戒めを守り、主の道を歩み、彼を畏れなさい。主はあなたを良い土地に導き入れようとしておられる。それは、平野にも山にも川が流れ、泉が湧き、地下水が溢れる土地、小麦、大麦、ぶどう、いちじく、ざくろが実る土地、オリーブの木と蜜のある土地である。(申命記 8:6-8) このように、神のみ言葉に従うときに与えられる祝福の満ちた地に育つ穀物、果樹の一つとしてあげられています。そのほかソロモンの神殿の柱頭に浮き彫りにされたり、祭司の服にも飾りとなり、「ベールを透かして輝いているあなたのこめかみは、ざくろの実」(雅歌 4:3)などのように、多様な意味に用いられています。それほど注目された果樹であったということなのです。

現代の日本では、ザクロの特徴ある実を直接に食べたことのある人は少ないと思います。果実の仕組みも独特で、入り組んだ部屋のようなところに小さな実(種)がいっぱいに詰まっています。私はこどもの時から、興味深く食べたものです。

このザクロは、小さな赤いみずみずしい実(種)がたくさん入っていることから、古代より豊かさと命の象徴として用いられてきました。そして、画家のボッティチェリなどは、マリアに抱かれた幼児イエスが、大きなザクロの実を手を持っている絵(「ザクロの聖母」と言われる)を描いています。これは、ザクロの赤い実はキリストが流した血によって輝くエクレスシア(キリスト者の集まり)を象徴するものであり、さらに、たくさんの実(種)がなかに入っているように、豊かな命、キリストによる永遠の命をもあらわしていると言われています。(「聖書象徴事典」174p 人文書院刊他) 現代の私たちは、多くの実、真理に向かってザクロのような赤く燃える心の実をつけるため、また永遠の命を受けるために、「私に留まっていなさい。そうすれば豊かに実を結ぶ」と言われた主イエスの言葉に従うようにと、求められています。(写真、文ともに T.YOSHIMURA)